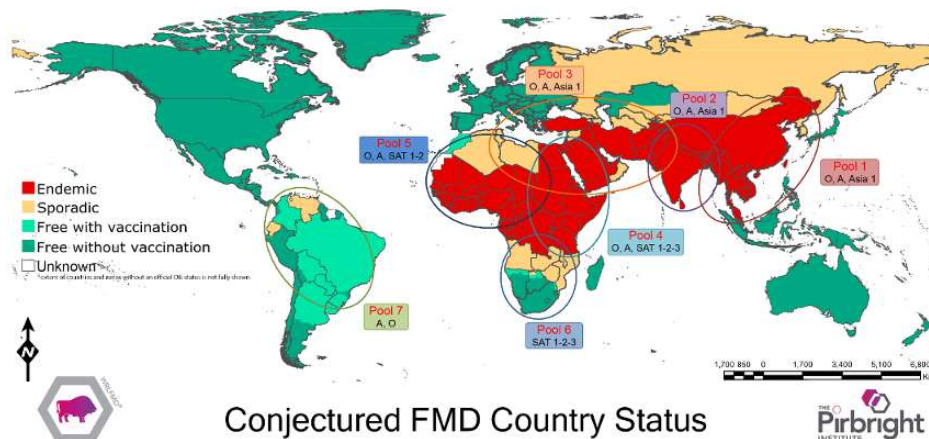


家畜伝染病のリスク について

立命館大学
食マネジメント学部
筒井 俊之

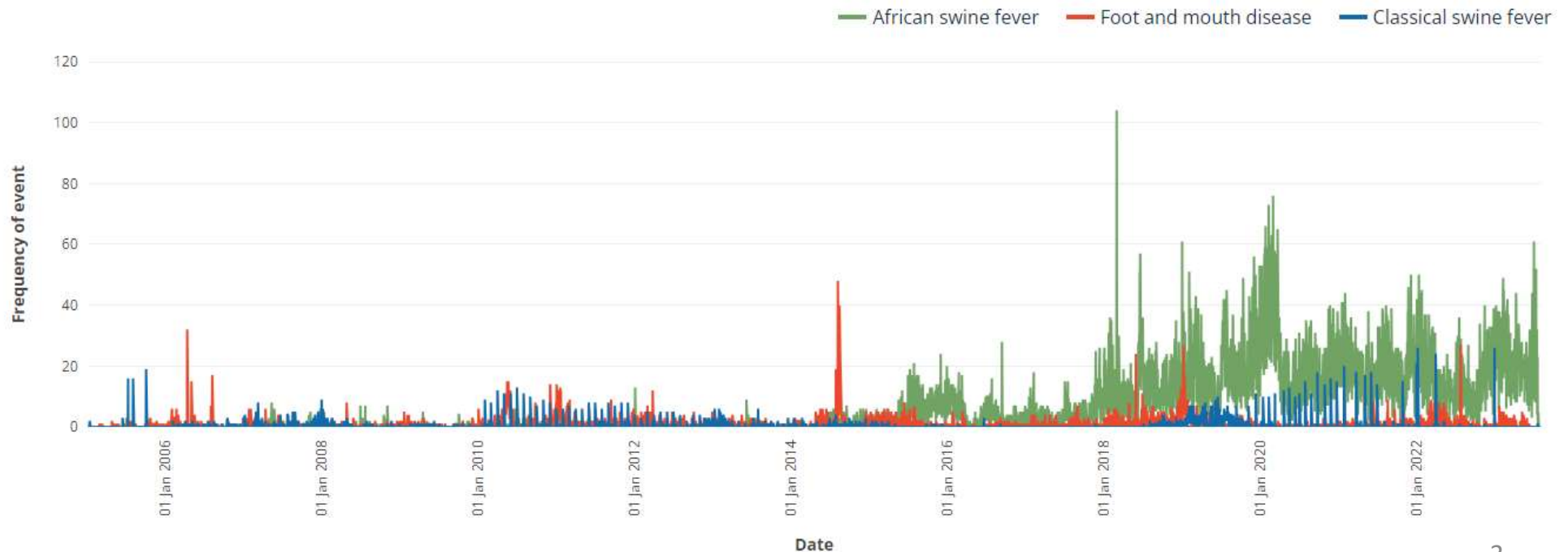
かつての家畜伝染病の 発生・流行は地域限定的 なものであった

- アフリカ豚熱：アフリカに局限
イボイノシシとダニとの間で感染環
- 口蹄疫：常在地域と清浄地域
常在地域が存在し、ウイルスが維持
されていた

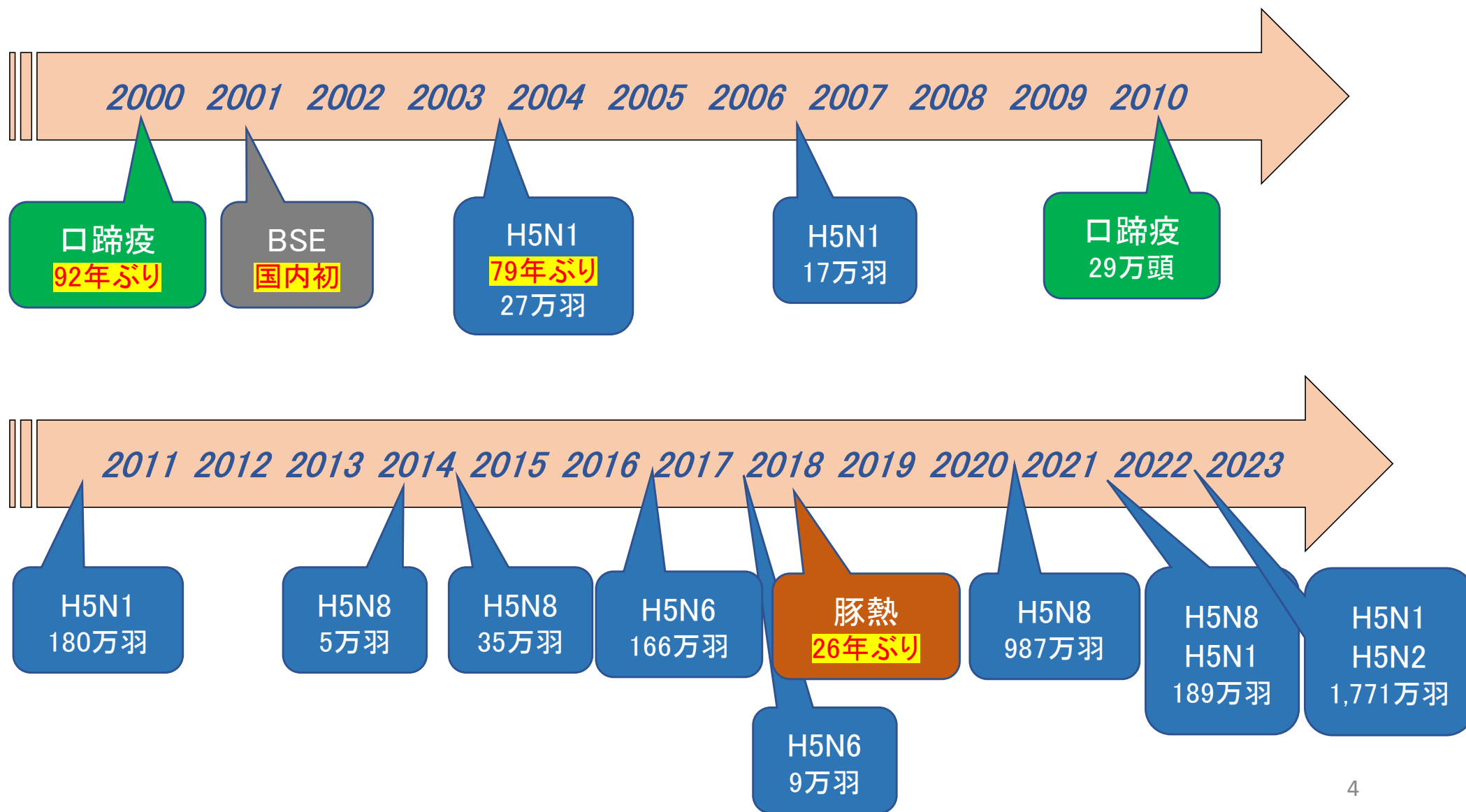


2000年頃から流行の様相が変わってきた

- 鳥インフルエンザの世界的流行
- アフリカ豚熱の世界的流行
- 口蹄疫の清浄地域への頻繁な侵入と流行



国内の重要家畜伝染病の発生状況



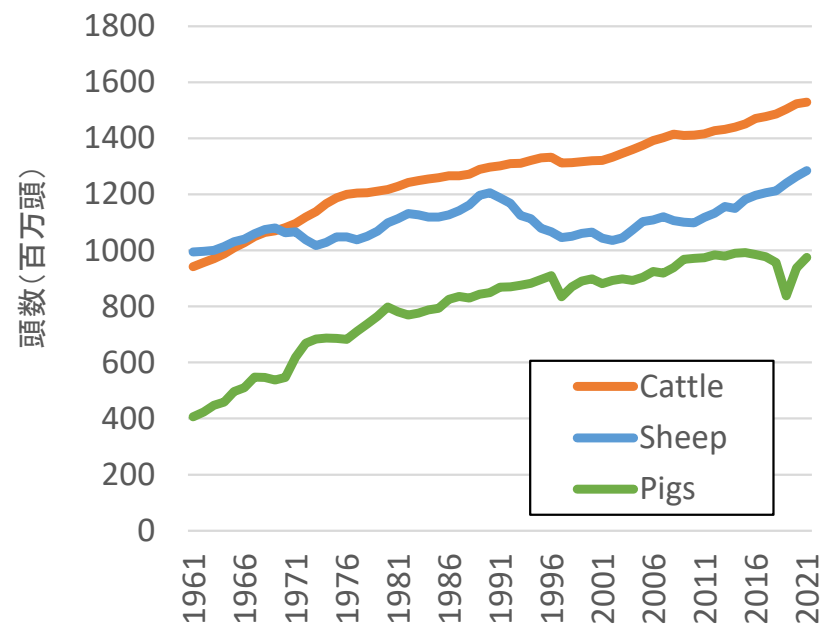
流行拡大の要因

- 家畜や畜産物の流通の高速化・大量化
- 流通圏の拡大
- 均質な家畜の大規模飼育
- 野生動物の関与

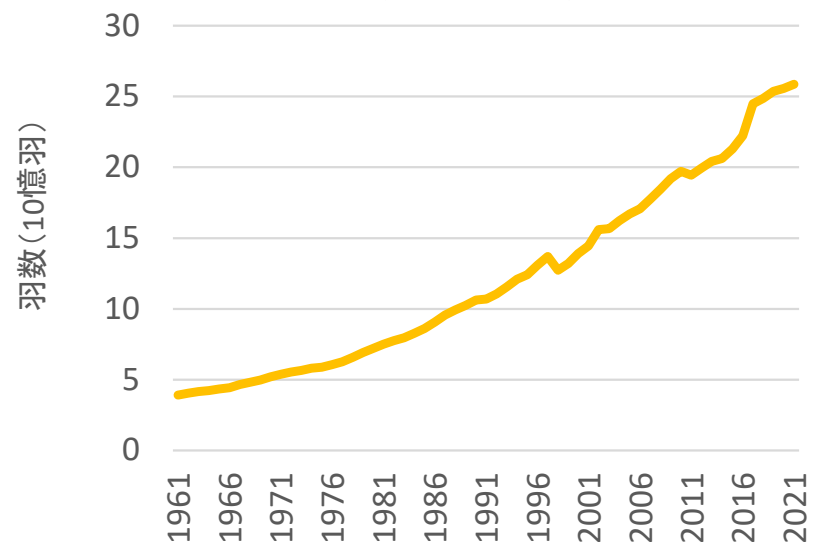


これらのリスク増大に対して、衛生管理システムの発展が追い付っていない。

世界の家畜飼養頭数

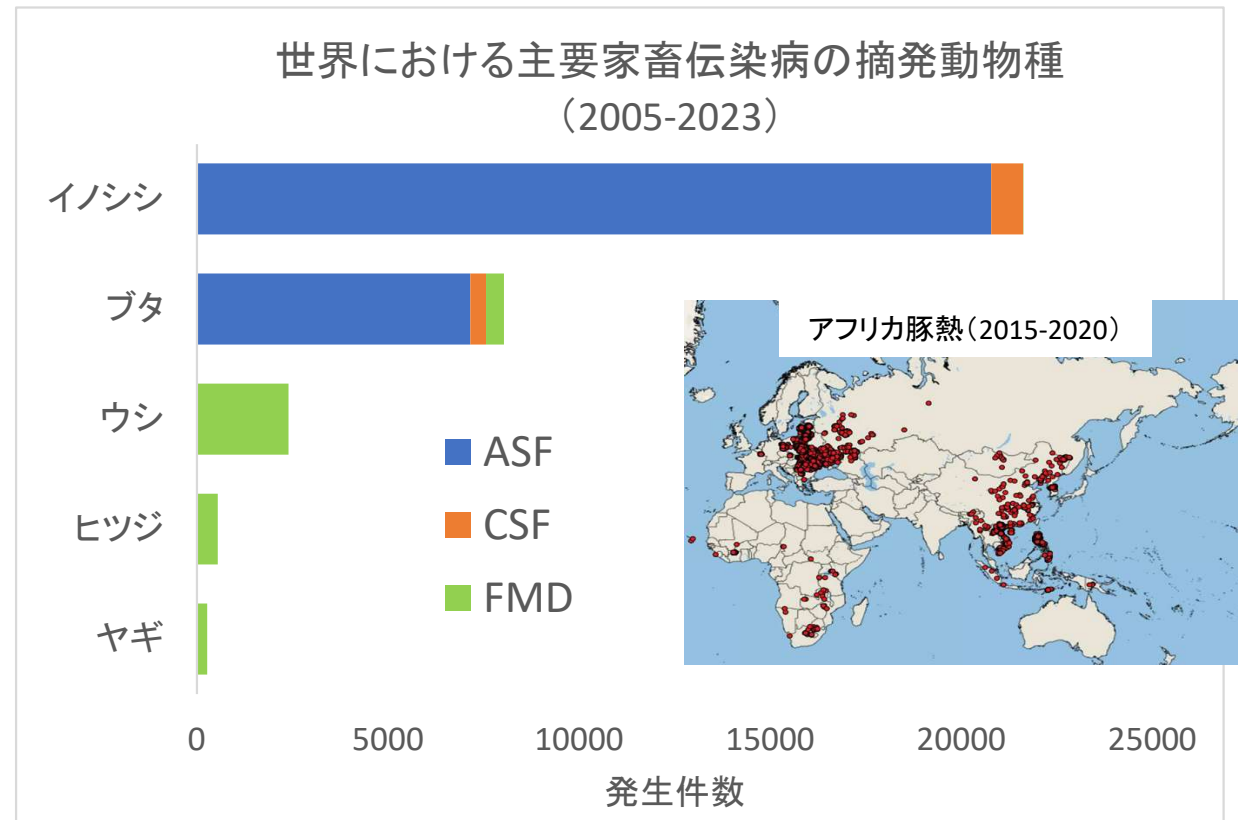


世界の鶏飼育羽数

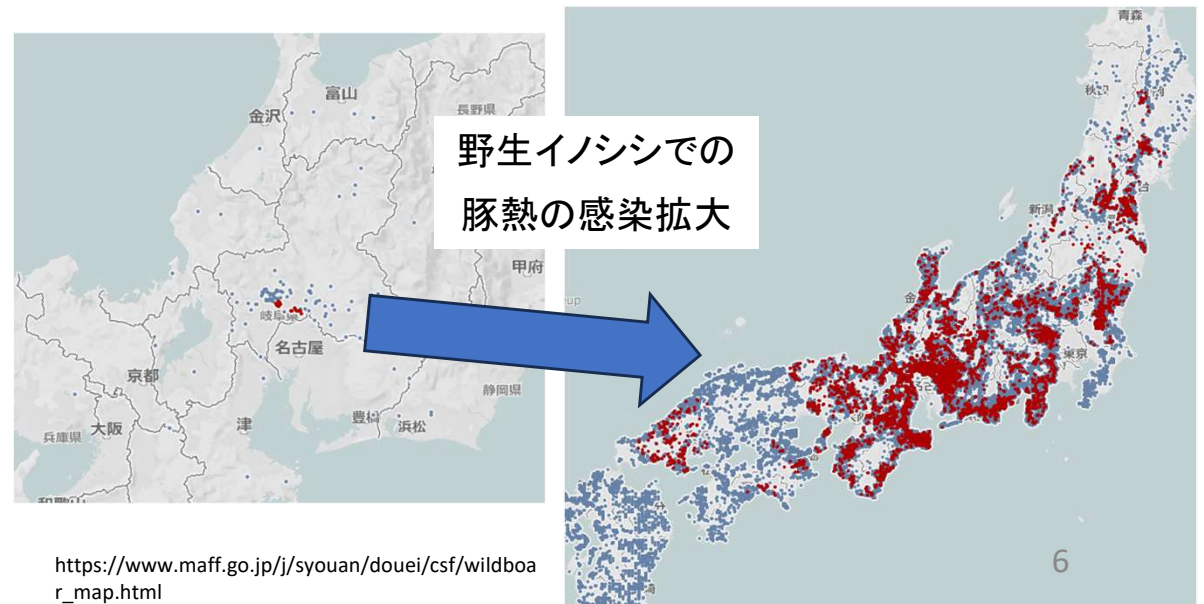


野生動物の問題

- イノシシによる欧州でのアフリカ豚熱の感染拡大
- イノシシによる国内での豚熱の感染拡大
- アナグマが媒介する牛結核(英国)
- コウモリが媒介する狂犬病(北米、中南米)



FAO EMPRES-iより

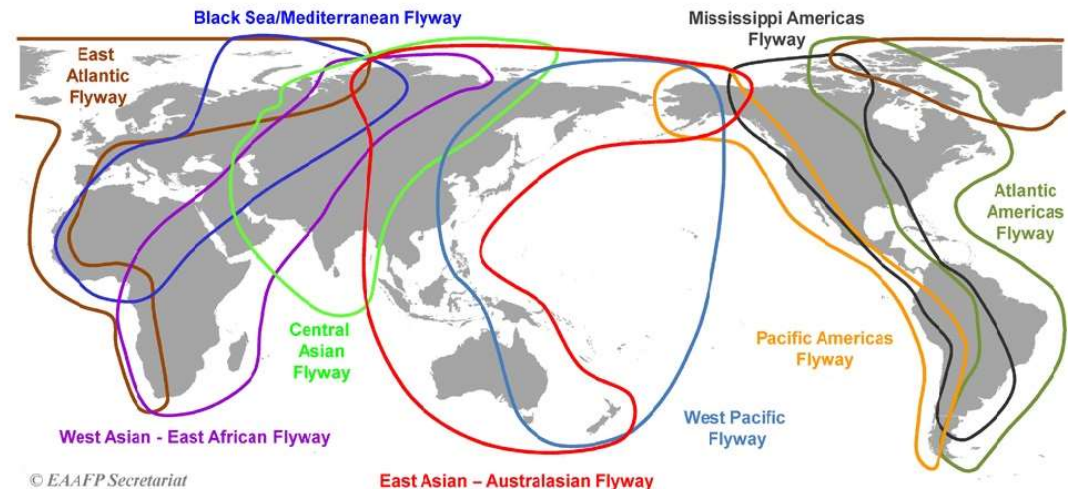
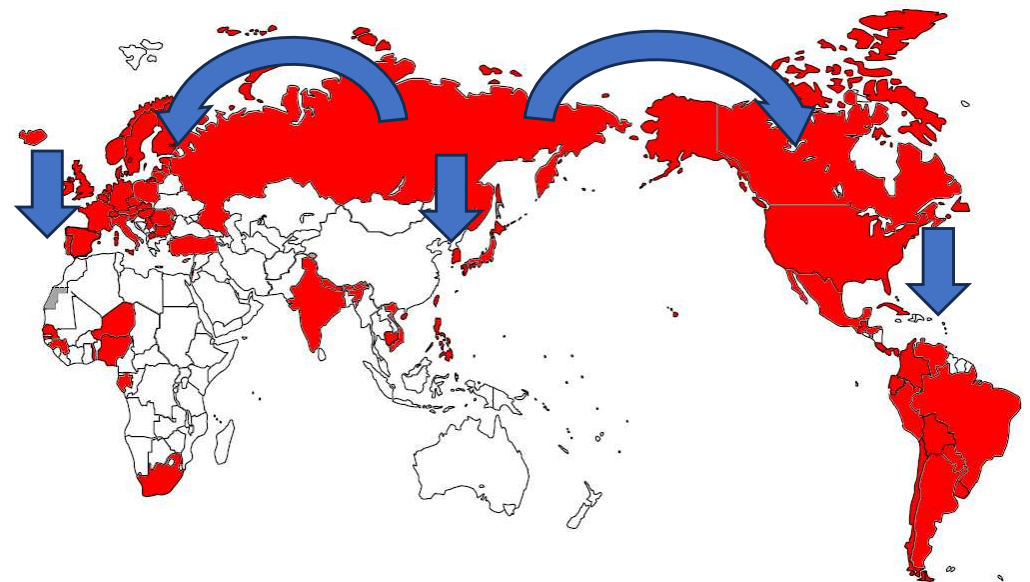


野鳥による感染拡大

- 渡り鳥による鳥インフルエンザの感染拡大。

新たな地域での定着
新たな宿主の感染

高病原性鳥インフルエンザの流行



現在の脅威

口蹄疫



アフリカ豚熱



狂犬病



ランピースキン病



あらたな脅威

- 未知の疾病、既知の疾病の変異（特に、人獣共通感染症）

例 BSE、コロナウイルス感染症（SARS, MERS, Covid-19）、シュマレンベルグ、インフルエンザ

- 地球環境変化に伴う野生動物や媒介昆虫の生息域の変化・拡大

例：蚊（ウエストナイル熱、リフトバレー熱）、マダニ（FSTS）、ヌカカ（ブルータング）

今後の対応

- 発生の予防（研究開発）
衛生管理技術、検疫技術、ワクチン
- 発生時の被害の最小化（研究開発）
迅速な摘発、効果的な防疫システム
- 国際協調
地域主義や相互承認による輸出入への影響の最小化、
常在地域における監視・撲滅
- 野生動物対策
生態の把握、感染予防技術の開発